

<ワークショップ・お花の投げ入れと和室の作法>

花を入れる器のことを花器といいます。床の間には、掛け軸が掛けられており、その前に花を飾ります。花の飾り方は花器や花にも向きがあり、元気に見える向き、見えない向きがあります。花器に花を入れる時は、花が元気に見える向きを確認してから入れましょう。また、花は長いもの短いものを用意して、どこから見ても三角に見えるように入れるときれいです。子どもたちは4組に分かれて、花器に花を入れる体験をしました。



その後は、二部屋にわかれ、秦先生に教えていただいた和室での作法を親子で実践しました。襖（ふすま）は汚さないように引手と枠を持って開け閉めする、たたみの縁はいたみやすので踏まないように歩く、床の間は来客のために主が心を込めて飾り付けたところなので、おもてなしに感謝する気持ちを持って拝見するなど、子どもたちは少し緊張した表情で、背筋を伸ばして取り組みました。



